

豊橋市民病院経営強化プラン（案）についての意見募集の結果

1. パブリックコメントの概要

- (1) 意見募集期間 令和5年12月1日（金）～令和6年1月3日（水）
- (2) 意見提出者数 1人（意見提出フォーム 1人）
- (3) 意見数 1件

2. 意見の概要と市の考え方

寄せられた意見の概要及び意見に対する本市の考え方は次のとおりです。

番号	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>p.23 の取り組み項目3 災害医療の確保に関する箇所の再考と、変更を望みます。</p> <p>現豊橋市民病院の所在地(豊橋市青竹町八間西50)は六条瀧の日干し干拓地。敷地は2.3mほど嵩上げされているそうですが、道路を含め周辺の土地は海拔0mのままです。</p> <p>大震災後に当病院施設が仮に無傷であっても、孤島状態の被災地になる可能性が高く、陸路の救援拠点には不向きであると考えます。水陸両用車を応分配備するなら別ですが、災害救助拠点は、標高が高く、地盤の強固なところに分散配置した方が得策であると考えます。</p> <p>南海トラフ津波地震では、強い揺れと同時に液状化をします。太平洋戦争戦時下に発生した2つの大震災(1944年12月7日の東南海地震、1945年1月13日の三河地震)では70センチの地盤沈下と液状化を記録しています。また、1953年9月18日に襲来した台風13号では、当地は数か月の間海面下でした。</p>	<p>参考意見として受け止めさせていただきます。</p>